

週刊新潮

12月17日号
400円

特集

二十三回忌「田中角栄」追憶の証言者



48

背景の自然の緑に美しく映える茅葺の屋根。家の建つ朽木地区は、古くから京都への木材の供給地として知られ、「朽木の仙」とも呼ばれた。



1 囲炉裏も板間も売主の手作り。古民家ならではの板戸や調度品と見事に調和している。

2 重厚な五右衛門風呂。内装もリフォームされており、清潔感が漂う。白木の板塀とのコントラストが美しい。

3 朽木地区を流れる針畑川。自然が横溢する静かな環境は、まさに田舎暮らしそのものである。

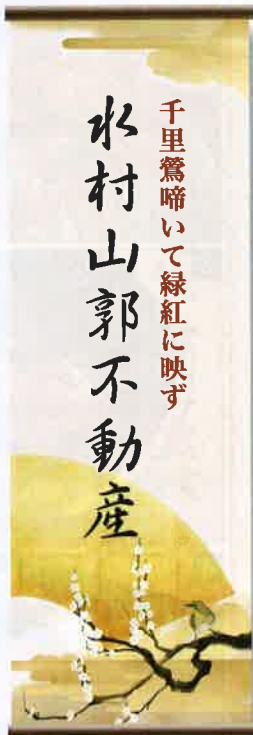


滋 賀県の西部、北は福井県、西は京都府に接した山間の古民家である。かつて「鑄街道」と呼ばれた国道367号から車で約40分、面積の90%以上が山林という朽木地区は、室町時代には12代將軍足利義晴と13代義輝が京都の騒乱を避けて政務を執った場所として知られ、「京の奥座敷」的な役割を担ってきた。明治時代に建てられたという物件は、築130年以上。売主が10年前に購入して移住し、気に

入って生活していたが、病氣療養のために止むをえず手放すことになったという。茅葺の屋根は、専門の職人と地元有志の手伝いによって6年かけて葺き替えたもので、そのままでも20年以上は保つそう。客間に設えた囲炉裏も周囲の板間、重厚な風呂釜もリフォーム時に新しく設置。手洗いも利便性を考えて水洗に改修してある。不便なく田舎暮らしを堪能できる好物件といえよう。

撮影・伊藤諭

1000㎡以上、
2000万円以下の
草庵！



file number 006

「京の奥座敷」で味わう★田舎暮らしの醍醐味

滋賀県高島市
朽木中牧

1480万円

●土地面積
1038平方m
●間取り
1階建て4LDK
●間引き
(有)マックスコーポレーション
☎075-706-3939

